

## 神楽山スキー報告

【山城】新潟県・神楽峰

【日程と天気】2016年12月17日 曇り時々雪 第五ロマ終点で-5~-6℃

【メンバー】CL 菊池・薄井・滝本・鈴木（忠）・I（会員外）

【行程】

千葉—かぐらスキー場駐車場—みつまたロープウェイ—みつまたゲレンデ 2 本滑走—閉鎖ゲレンデ—本深雪滑走—ゴンドラ—ゴンドラ降車駅隣接の無料休憩所で休憩—第一高速リフトトップ（1680m）—シール登高一第五ロマ終点（1830m）—滑走—第一高速リフトトップ—ゲレンデ滑走—駐車場—帰葉



・2年連続少雪により立山初滑りが中止となり、今回の神楽が初滑りとなった。かぐらスキー場の積雪は比較的順調に降雪があり、かぐら上部で150cm、みつまたゲレンデでも130cm、駐車場100cmとこの季節としてはまあまあの積雪量となっていた。

18日は晴れベースの好天予想ではあったが高温、17日は冬型が残りやや不安であったが、低温、風も弱まってきており雪質の条件としては良いと考え17日を選択した。他のスキー場は積雪不十分、オープン前が多く、多くのスキーヤーがかぐらに集中した。湯沢IC出口で渋滞、少し時間を要し、駐車場には予定時間より少し遅れて8時過ぎに到着すると、既に多くの車でごった返し、ロープウェイ乗り場からかなり離れたの駐車となった。

10月より湯沢在住となった鈴木さんの常宿であったロッジから通常価格より1000円ほど安い一日券を購入しておいていただき、ロープウェイ待ちの長蛇の列の最後尾で合流した。オープンから連日16日間ほど滑走しており、精気みなぎる元気な顔を拝見させていただき、千葉組もテンションUPでロープウェイの人となった。

・今シーズン初滑りのため、みつまたの左右ゲレンデを1本ずつ滑走し足慣らしした。一本目の終点間近のゲレンデ脇にわずかに残る20mほどのノートラ部分で今シーズン初のパウダーお絵描きを楽しめた。



ゴンドラ乗り場に向かう下り斜面にはノートラバーンが残っている。やや重の膝下デープパウダーを美味しくいただき、斜度が緩むと重パウのため走らない、ゴンドラ乗り場へのやや登りもある水平道を息切らしてラッセルした。

・ゴンドラ降り場から和田小屋のあるかぐらメインゲレンデに出ると既に大勢のスキーヤーで賑わっていた。リフト乗り場にはやる気持ちを抑え、和田小屋に向かう左側にある無料休憩所で行動食休憩とした。鈴木さんはよく利用すること、幸い全員座席を確保できた。鈴木さんいわく「デイサービス」とのこと、私より高齢の常連の方々が数名ビールを片手に楽しんでおられました。ここには電子レンジもあり、コンビニで購入したレトルト食品を温めて楽しんでいる若者グループもいました。ゴンドラ駅にあるレストランのトイレに行ってみるといつものように激激込み、和田小屋も恐らく激込。行動食持参の山スキーヤーにとっては、この無料休憩所をうまく利用できるのが最高である



・第五ロマの運行は1月1日よりとのこと、鈴木さんから第五ロマ付近でパウダーランが楽しめるとの情報を得ていたため、第一高速降り場からシール登行することとした。今シーズンの初BCである。ツアーにはまだまだ積雪不足のため、密なシラビソ林を突破するのは厳しい。新雪も30cm余りある、左に進むトレースを辿っていくと迷走している。鈴木さんのシールが間もなく外れ、ツアーを断念するかと始めから前途多難である。何とか復旧し、われわれ独自のトレースを切り開きながら進むが、狭いシラビソ林の凹凸の激しい深雪にトップは難儀し、テンションダウン。右往左往しながらも少しずつ進路を右の登山道方向に調整しながら進んだ。



開けたエリアに来ると新雪もそれほど深くなく少しテンションがアップした。やがてしっかりしたトレースに合流しほっとした。

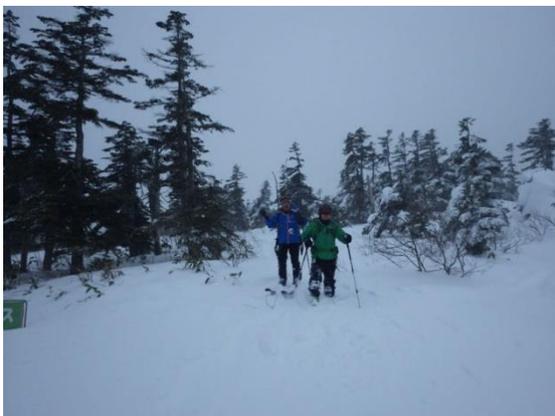
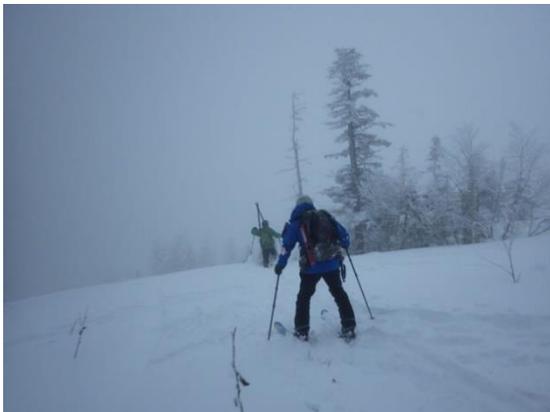
上から滑走してきたお二人と言葉をかかわした。「第五ロマまででその周辺は何とか滑れるが、波打つ斜面は難儀する」とのこと。少し進み次第に斜度が増してくると樹間の開け、パウダーランが楽しめるようなエリアが広がってきた。先行のお二人が休憩する脇を通り抜け、急斜面につくトレース辿ってせっせと第五ロマ終点に向かった。



・第五ロマ降り口の下で行動食休憩、風は弱いが汗をかいたせいかなかなり寒い。「さて滑走」と、各自支度をしたが、鈴木さんのTLTビンディングの後が収まらない、何度試みても駄目である。私からドライバーを借りて調整と思っても駄目である。午前中のゲレンデでは全く問題なかった。前日ビンディングの取り換えを終わったばかりとのこと、原因は



わからない。ある部分が凍り付いて可能性が強く、テルモスのお湯をかけることも考えた  
が、それでだめならますます凍り付いてしまう。時間はそれなりにあるが焦りが出てきた。  
トラブル用に持参した木製ワカンを装着して下ることを指示したが、しっかり装着できな  
い。なんとか装着して下り始めたがすぐに外れてしまった。(千葉に帰宅後やってみたが、  
ワカンについている紐だけではしっかり装着できず、細引など他の紐を一本追加して縛る  
としっかり装着でき、現地でも使用できるであろうとわかった。今度は深雪で実際に練習  
してみるつもりである) 新雪がまだそれほど深くないためツボ足で何とか進めることが分  
かり登りトレースを辿りとにかく高度を下げることにした。



極めて遅い速度で進み、所々膝上まで沈む。  
しっかり補助しながら第一高速リフトトッ  
プ(BCエリア入山口)に到達しほっとした。  
第五ロマ周辺のパウダーエリアは、やや重深  
雪・大きなウネリなどで滑走は手強く、皆さ  
ん、それなりに苦勞した。第五ロマ終点から  
第一高速リフト終点までのツボ足での下り  
の所要時間は1時間25分であった。

今期の初BCはシールトラブル・ビンディングトラブル、手強い積雪状況で辛口のスタートになった。

・かぐら第一高速のメインゲレンデでは皆さん、水を得た魚のように、思い思いの滑走練習、鈴木さんはツボ足でゴンドラ乗り場に向かい、下りゴンドラに乗車するつもりだったが、ビンディングの装着可能となり、やれやれ。低温で凍った部分があり、作動が不十分となったことが原因であったようだ。長いながーい緩斜面をIさんにテレマーク指導しながら下った。大腿四頭筋への負担が強く、パンパンに張ってきたので終盤はアルペン滑走で締めくくった。

・やはり山スキーでのシールトラブル・ビンディングトラブルは下手をすると遭難につながる。ビンディングの取り扱い・トラブル時の危険回避手段への備えをしっかりと行うことが重要であることを再認識させられた。

・入会間もない滝本さんはゲレンデスキー歴30年ほどで技術は上級、山スキーは昨年からのことでノウハウを学んでいただき、山スキー歴4~5年の上達が早い薄井さんと山スキー部門の牽引者になっていただきたい。